茨城の工業　～平成26年工業統計調査の結果から～

茨城県企画部統計課　商工農林グループ

1　調査の概要

工業統計調査は，明治42年に始められ，100年以上の歴史を持つ調査です。日本の工業の実態を明らかにすることを目的とし，調査の結果は，国や都道府県の施策立案の基礎資料や民間企業，大学など国民生活の幅広い分野で活用され，豊かで住みよい日本を築くために役立っています。

2　調査結果の概要

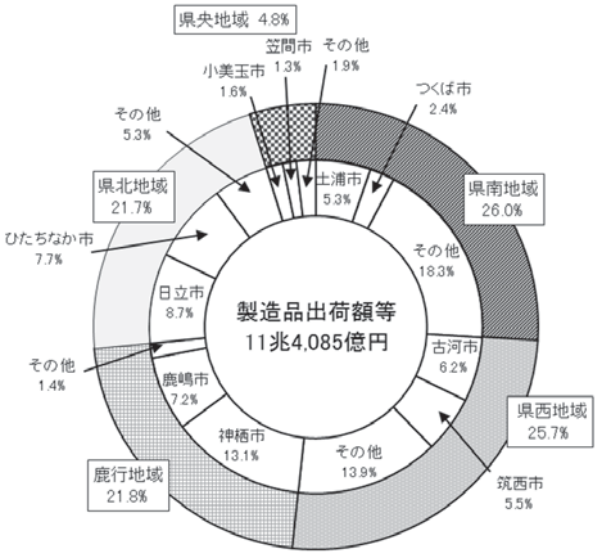
製造業の事業所（従業者数４人以上）を対象に平成26年12月31日現在で実施した平成26年工業統計調査の結果のうち，主要項目である製造品出荷額等，事業所数，従業者数についてご紹介します。

(1) 製造品出荷額等

本県の製造品出荷額等は，11兆4,085億円（対前年比＋4.7％）で，全国順位は９年連続で第８位となりました。

地域別にみると，県南地域２兆9,654億円（対前年比＋3.4％），県西地域２兆9,317億円（対前年比＋11.2％），鹿行地域２兆4,824億円（対前年比＋1.9％），県北地域２兆4,800億円（対前年比＋2.4％），県央地域5,491億円（対前年比＋2.2％）の順となっており，すべての地域で増加しています。

第１図　地域別製造品出荷額等構成比



市町村別では，神栖市が３年連続で第１位（１兆4,965億円）となり，次いで日立市（9,938億円），ひたちなか市（8,801億円）の順になっています。

◆製造品出荷額等の多い市町村

（億円）

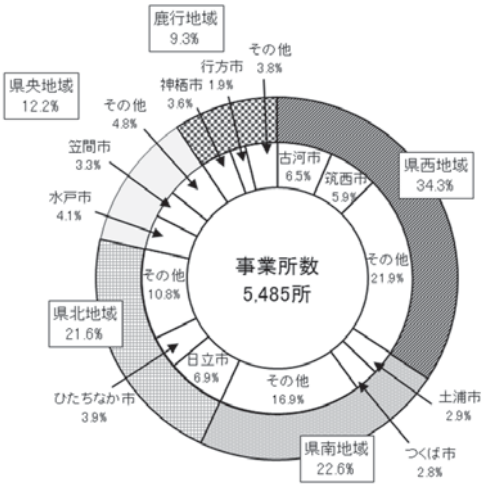
順位	茨城県	114,085
1	神栖市	14,965
2	日立市	9,938
3	ひたちなか市	8,801
4	鹿嶋市	8,233
5	古河市	7,130

(2) 事業所数

本県の事業所数は，5,485事業所（対前年比－1.5％）で，全国順位は第11位となりました。

地域別にみると，県西地域1,883事業所（対前年比－2.4%），県南地域1,238事業所（対前年比－0.4%），県北地域1,183事業所（対前年比－1.0%），県央地域671事業所（対前年比－2.5%），鹿行地域510事業所（対前年比－0.6%）の順となっており，すべての地域で減少しています。

第２図　地域別事業所数構成比



市町村別では，日立市が最も多く（380事業所）となり，次いで古河市（359事業所），筑西市（325事業所）の順になっています。

◆事業所数の多い市町村

（事業所）

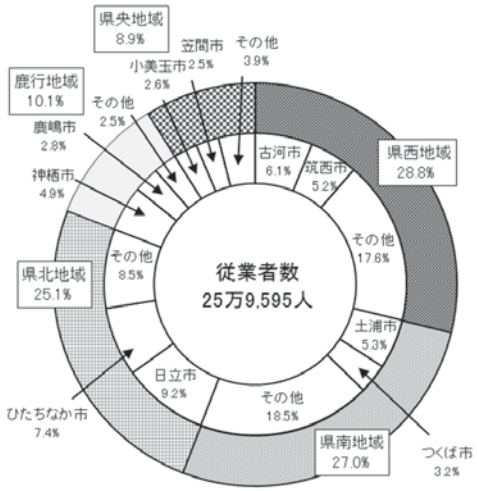
順位	茨城県	5,485
1	日立市	380
2	古河市	359
3	筑西市	325
4	常総市	247
5	水戸市	227

(3) 従業者数

本県の従業者数は，25万9,595人（対前年比＋2.3％）で，全国順位は第８位となりました。

地域別にみると，県西地域７万4,892人（対前年比＋1.5%），県南地域７万70人（対前年比＋4.7%），県北地域事業所６万5,206人（対前年比＋1.4%），鹿行地域２万6,297人（対前年比＋0.8%），県央地域２万3,130人（対前年比＋2.0%）の順となっており，すべての地域で増加しています。

第３図　地域別従業者数構成比



市町村別では，日立市が最も多く（23,821人）となり，次いでひたちなか市（19,255人），古河市（15,931人）の順になっています。

◆従業者数の多い市町村

（人）

順位	茨城県	259,595
1	日立市	23,821
2	ひたちなか市	19,255
3	古河市	15,931
4	土浦市	13,814
5	筑西市	13,402

◎この調査結果は、本県ホームページ「いばらき統計情報ネットワーク」
http://www.pref.ibaraki.jp/kikaku/tokei/fukyu/tokei/betsu/koko/kogyo26/index.html
に掲載しています。

◎全国の調査結果は、経済産業省ホームページ
http://www.meti.go.jp/statistics/tyo/kougyo/index.htmlに掲載されています。